

2013年5月臨時議会を終えて

2013年5月27日
日本共産党京都府会議員団
団 長 前窪 義由紀

1、5月21日に開会した5月臨時議会が24日に閉会した。

本議会は、一年間の議会活動のまとめを行うとともに、正・副議長や監査委員、委員会の正・副委員長等を選出する重要な議会であった。

我が党議員団は、開会日に「議会の民主的構成についての申し入れ」を各会派および議長に行い、20年近くにわたり、オール与党が第三党の我が党会派を議会役職から排除してきた非民主的運営の是正を求めた。また、これまで会派内やオール与党会派間による役職調整で徹夜議会となり、会期を延長することが行われてきたが、府民的に道理のないオール与党による議会運営の是正についても求めた。

その結果、会期どおり終了することとなった。しかし道理のないオール与党による役職たらいまわしは継続されることとなった（委員会所属の詳細は府議団ホームページ参照）。

2、本臨時議会には、「京都府警察官西陣待機宿舍新築工事請負契約変更の件」「平成24年度京都府一般会計補正予算の専決処分について承認を求める件」「京都府府税条例の一部改正の先決処分について承認を求める件」の3件が提案され、いずれも賛成した。

3、開会日に全員協議会が開催され、防衛省から自衛隊経ヶ岬分屯地への米軍によるTPY-2レーダー配備計画の説明が行われた。我が党議員団からも質問にたち、計画の目的や今後の動き、住民の不安にどう答えるのか等について論戦した（詳細は府議団ホームページ参照）。

会期中の23日に「米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会」が結成されるなど、反対運動が広がっているが、引き続き皆さんと力合わせて計画撤回を求めて全力をあげるものである。

以上